

学校教育目標

『 優しく、賢く、逞しく ～未来を切り拓く生徒の育成～ 』

どれだけ努力したか（努力評価）ではなく、どれだけ成果をあげられたか（結果評価）で、取組を評価する

《めざす教師像》プロとしての自覚と誇りを持つ教職員

☆「教育は人なり」である。子どもを成長させていくためには、教師が資質・指導力の向上を図らなければならない。教師力の向上は、学校力の向上に通じる。

- (1) 授業で勝負する教師・・・常に授業力の向上に努める教師
授業を通して、子どもを鍛え育てる教師
- (2) 子どもと共に歩む教師・・・子どもと本気で向き合う教師
あたたかい心で子どもに接し、認め育てる教師
良くないことは毅然と叱ることができる教師
子どもの言動の背景を探る教師
保護者と協力して子どもを育てる教師
- (3) 子どもの模範となる教師・・・教師は最大の教育環境である
自らの言動の子どもに与える影響の大きさを
自覚して行動する教師
まず、自ら率先して行動する教師
学び続ける教師（人から学ぶ、書物から学ぶ）
- (4) チームで取り組む教師・・・「学校は組織である」ことを常に意識して取り組む教師
教職員全員で子どもを育てる教師集団

（今年度教職員の重点目標）

組織で協議し、組織として徹底する ～各種委員会、担当者会の活性化～